



温故知新



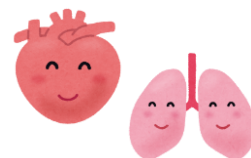
健康診断を受けましょう！

現在、各現場において私病が問題視されています。事業主が従業員の健康管理を把握しておくことは勿論。皆さま1人1人が自覚を持って自分の健康状態を把握し毎日元気に健康で働ける環境を作りましょう！

また、健康診断は1年に1度受診する必要があります。受診した際は、野田工業の社員誰でも構いませんので報告をお願い致します。こちらから、期限が迫ってきている方へ打診することもございます。その際はすみやかに受診していただきますよう御協力お願い致します。

◎ 一般健康診断項目 ◎

- 1、既往歴及び業務歴の調査
きおうれき
- 2、自覚症状及び他覚症状の有無の検査
じかくしょうじょう たかくしょうじょう
- 3、身長、体重、視力、腹囲、色覚及び聴力の検査
きょうぶ かくたん
- 4、胸部エックス線検査及び喀痰検査
- 5、血圧測定
- 6、貧血検査（赤血球数及び血色素量の検査）
けっしきそりょう
- 7、肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP）
- 8、血中脂質検査
けっせん
（HDLコレステロール、血清トリグリセイド、LDLコレステロール）
- 9、血糖の検査（HbA1cで代替可）
- 10、尿検査（尿中の糖及び蛋白の有無の検査）
たんぱく
- 11、心電図検査



【今号の主な内容】

- P① 健康診断
- P② 全国交通安全運動
- P③ 労働安全衛生週間
- P④ ことわざ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL：03-3572-1866
FAX：03-3575-0420

ことわざ・格言になろう安全衛生訓

●うさぎの記憶力●

・パニックで判断能力を喪失



猟でうさぎがよく捕まるのは、穴から追い出され、さんざん逃げ回ったあげく、猟師がそこで待っているのも忘れてもとの穴へ逃げ込むからです。その様からうさぎは忘れっぽいと考えられ、教えてもすぐに忘れる人を評するときに「うさぎの記憶力」とたとえて使われます。

でも、うさぎは決して忘れっぽいのではなく、恐怖のあまり判断力を失ってしまうからだといわれています。人間でも思わぬ事故などに見舞われると、パニック状態になって正しい行動が取れなくなってしまうます。過去の米国やロシアでの原発事故では、ほとんどの運転員が決められていた行動ができなかったと報告されています。パニック状態ではなくても私たちは、忘れたり、記憶違いをしがちです。大切な手続きや連絡、指示事項などは漏れがないよう、お互いに注意し合って徹底を図りましょう。

また、緊急時などに、うさぎのように動転して間違った行動を取らないよう、日頃から緊急時の行動基準などを決めておき、訓練などで予習をしておくことが肝要です。



【 職長会のお知らせ 】

●日時 平成30年10月22日

●時間 18:00～

●会場 銀座ユニーク 3F



全国労働衛生週間

— 全国労働衛生週間スローガン —

こころとからだの健康づくり みんなで進める働き方改革

◎準備期間:9月1日～30日

◎本週間:10月1日～7日

会長メッセージ

平成30年度の全国労働衛生週間を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

初めに、先の「大阪府北部の地震」「平成30年7月豪雨」でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成29年の建設業における業務上疾病(休業4日以上)の被災者は665人(前年比43人増)、平成29年度の精神障害に係る、労災補償請求件数は前年度に引き続き100人を超えるなど、会員をはじめ関係各位の不斷の努力にも関わらず、残念ながら増加傾向にあります。

本年度を初年度とする国の「第13次労働災害防止計画」では、労働者の健康確保、過重労働の防止、メンタルヘルス対策等の必要性が大きく取り上げられました。建災防の「第8次建設業労働災害防止5カ年計画」においても、過重労働による健康障害防止対策とメンタルヘルス対策を重点課題として挙げております。

メンタルヘルス対策には、生活に現れる不調を拾い上げることが有効です。建設工事現場においては、ストレスチェック制度に基づいた対応に加え、安全施工サイクルを活用した「建災防方式健康KYと無記名ストレスチェック」の実施に引き続き取り組むことで、働く方々の健康の保持・増進、職場環境の改善に努めて頂きたいと思っております。

また、建設業において大きな課題である石綿障害を初めとした職業性疾病の減少に向けては、「平成30年度建設業労働災害防止対策実施事項」を参考に実効性のある対策を進めて下さい。

これから迎える全国労働衛生週間は、労働者の「心とからだの健康」と「快適な職場環境づくり」の重要性を再認識する良い機会です。

本年度の「全国労働衛生週間実施要領」を参考に、経営トップの明確な方針のもと、企業の実態に即した効果的な労働衛生対策を実践され、職場の労働衛生水準の向上に努められますようお願い申し上げます。

なお、9月20日と21日の両日、神奈川県横浜市において第55回全国建設業労働災害防止大会を開催致します。

奮ってご参加頂きますよう、併せてお願い申し上げます。

平成30年9月 建設業労働災害防止協会
会長 銭 高 一 善



9月30日(日)は交通事故死 **ゼロ** を目指す日です

交通ルール、みんなが守って「交通事故ゼロ宣言」

もう一度、左右の確認横断歩道!

子供と高齢者の安全な通行の確保と 高齢運転者の交通事故防止

- 児童の交通事故は登下校中に多く発生しています。また、交通事故死者の半数以上は高齢者です。通り慣れた道路でも、信号を守る、横断禁止場所は横断しないなどの交通ルールを守りましょう。

- 高齢運転者は、運転免許証の自主返納も含めて家庭内でよく話し合しましょう。



つけて安心、いのちを守るピカピカ「反射材」

夕暮れ時と夜間の歩行中・ 自転車乗用中の交通事故防止

- 視界が悪くなる夕暮れ時や夜間は、反射材等を身に付けて自分の存在を知らせましょう。
- 夕暮れ時の早めのライト点灯を徹底しましょう。



後ろの席でも、締める癖

全ての座席のシートベルトと チャイルドシートの 正しい着用の徹底

- 運転者は、後部座席を含めた全ての座席でシートベルトやチャイルドシートが正しく着用されていることを確認しましょう。
- チャイルドシートは、子供の体格にあったものを選びましょう。



チャイルドシート着用
推進シンボルマーク
「カチャピョン」

「チョットだから大丈夫!」その軽い気持ちで命取り

飲酒運転の根絶

- わずかなお酒でも注意力や判断力を低下させるおそれがあります。飲んだら「運転しない」、「運転させない」を徹底しましょう。



秋の全国交通安全運動は平成30年9月21日～9月30日までです。

現場への通勤時、帰宅時、疲れていて眠気に覆われたり、急な電話対応の為に運転しながらスマホを操作したりしていませんか?ちょっとした行為が大きな事故へとつながります。少し車を止めて、眠気を覚ましてから出勤する。車を止めてスマホをいじる。ほんの少しの注意で事故は防げます。交通事故を起こさないように、この期間が終わっても運転等は十分に注意しましょう!